

# 東日本大震災の概況

地震により発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者が生じるとともに、沿岸部の広範囲にわたり未曾有の被害をもたらしました。内陸部においても大きな揺れが約3分間続き、電気、上下水道、ガスなどの被害が広範囲に及び、道路、公共交通機関、通信インフラも大きな被害を受けました。沿岸地域では従来一定の津波対策を行ってきましたが、今回の巨大津波を防ぐことはできず、壊滅的な被害を受け、最大32万人を超える被災者が避難所での生活を余儀なくされました。また、東京電力福島第一原子力発電所が津波被災し、空間に放射性物質が放出されたため、宮城県においても、放射能測定や各種検査などの対応に追われました。



塩竈市



七ヶ浜町



岩沼市



仙台港 7.2m

石巻市 鮎川 8.6m以上

発生日時  
平成23年3月11日(金)  
14時46分頃



震央

震央地名  
三陸沖(北緯 38.1度、東経 142.5度)  
牡鹿半島の東約 130km

震源の深さ 約24km

最大震度 震度7 (栗原市) マグニチュード M9.0

## 被害状況

詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/km-higaizyoukyou.html>

### (1) 人的被害

死者	10,472人
行方不明者	1,283人

死者のうち879人が関連死  
全国の被害者総数の約6割に相当

### (2) 住家被害

全壊	82,911棟
半壊	155,086棟

全国の被害総数の約6割に相当

### (3) 避難の状況

平成23年12月30日  
県内の全避難所が閉鎖

ピーク時(平成23年3月14日)

1,183施設(35市町村)
320,885人

応急仮設住宅入居者	42,721人
民間賃貸借上住宅入居者	41,717人
県外避難者	8,124人

### (4) ライフライン関係被害

平成23年12月11日  
県内のライフラインが全て復旧(津波で流出した地域を除く)

ピーク時

停電	1,545,494戸
給水支障	35市町村
ガス供給支障	13市町

### (7) 被害額の概要

交通関係	103億円	鉄道、バス、離島航路 ※東日本旅客鉄道分を含みません。
ライフライン施設	1,866億円	電気、水道、都市ガス、通信・放送施設
保健医療・福祉関係施設	510億円	医療機関、社会福祉施設など
建築物(住宅関係)	5兆0,903億円	
民間施設など	9,906億円	工業、商業、自動車・船舶など
農林水産関係	1兆2,952億円	農業、畜産業、林業、水産業など
公共土木・交通基盤施設	1兆2,568億円	道路、河川、海岸、港湾、下水道など
文教施設	2,010億円	学校、社会教育施設、文化財施設など
廃棄物処理・し尿処理施設	69億円	
その他の公共施設など	773億円	観光施設、消防・警察関係施設、庁舎など
計	9兆1,660億円	

### (5) 浸水面積 327km<sup>2</sup>

青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の6県  
合計の浸水面積561km<sup>2</sup>の約6割、東京都  
23区の面積の半分以上に相当

### (6) 地盤沈下

海拔0m以下の面積 56km<sup>2</sup>

震災後増加割合3.4倍



気仙沼市



南三陸町



石巻市



栗原市



多賀城市



亶理町



仙台市



女川町



山元町



東松島市



登米市



名取市

※(1)、(2)は平成26年1月31日、(3)は平成26年2月28日うち県外避難者は2月11日、(7)は平成25年12月10日時点の情報です。  
※(5)東京都23区の面積は621.98平方キロメートル

※1 自衛隊による救出活動 ※2 銭湯にできた長蛇の列 ※3 ガソリンスタンドにできた長蛇の列 ※4 避難所の様子